

スクリプト機能
(SD→USB ファイルコピー)

サンプル画面説明書

三菱電機株式会社

サンプルのご利用について

サンプル用の画面データ、取扱説明書などのファイルは、以下の各項に同意の上でご利用いただくものとします。

- (1) 当社製品をご使用中またはご使用検討中のお客様がご利用の対象となります。
- (2) 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。
- (3) 当社が提供するファイルは、改竄、転載、譲渡、販売を禁止します。
但し、内容の一部または全てをお客様作成の機器やシステム内の当社製品上でご利用いただく場合は、その限りではありません。また、当社製品をご利用いただいたお客様作成の仕様書、設計書、組み込み製品の取扱説明書などへの転載、複製、引用、レイアウトの変更についてもその限りではありません。
- (4) 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータを利用することによって生じた如何なる損害も当社は補償をいたしません。お客様の責任においてご利用ください。
- (5) 当社が提供するファイルに利用条件などが添付されている場合は、その条件にも従ってください。
- (6) 予告なしに当社が提供するファイルの削除や内容の変更を行うことがあります。
- (7) 当社が提供するファイルのご使用に際しては、対応するマニュアルおよびマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。

目次

改訂履歴.....	4
1. 概要	5
2. システム構成	5
3. GOT について	5
3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション.....	5
3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定	5
3.3 作画ソフトウェアの Ethernet 設定	6
4. 画面仕様	6
4.1 表示言語	6
4.2 画面一覧・遷移	6
4.3 画面説明	7
4.3.1 ファイルコピー/削除 (B-30001)	7
4.4 使用デバイス一覧	8
4.5 コメント一覧	8
4.6 スクリプト一覧	8
5. テンプレート	11
6. その他	12
6.1 SD カード内のフォルダ名を変更	12
6.2 ファイル名の最大文字数を変更	13

改訂履歴

サンプル画面説明書

改訂日付	管理番号*	改訂内容
2014/3	BCN-P5999-0277	初版

* 管理番号は、右下に記載しています。

プロジェクトデータ

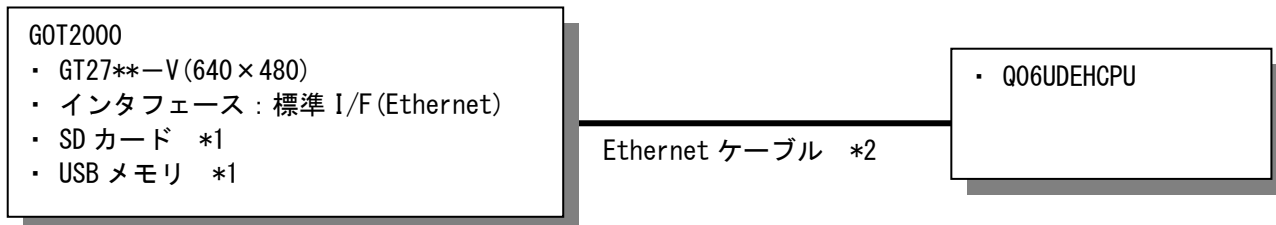
改訂日付	プロジェクトデータ	GT Designer3*	改訂内容
2014/3	Script_File-Copy_V_Ver1_J. GTX	1. 108N	初版

* プロジェクトデータ作成時に使用した作画ソフトウェアのバージョンです。記載したバージョンと同等、またはそれ以降のバージョンの作画ソフトウェアを使用してください。

1. 概要

GOT のスクリプト機能 (ファイル操作関数) を使用し、SD カード内の CSV ファイルを一覧から選択して USB メモリにコピー、または削除するサンプル画面の説明書です。

2. システム構成



*1: SD カード、USB メモリはスクリプト機能で使用しています。

*2: ケーブルの詳細については、「GOT2000 シリーズ接続マニュアル (三菱電機機器接続編)」を参照してください。

3. GOT について

3.1 自動で選択されるシステムアプリケーション

種類	システムアプリケーションの名称		
基本機能	基本システムアプリケーション		
	標準フォント	日本語	
通信ドライバ	Ethernet 接続	Ethernet (MELSEC), Q17nNC, CRnD-700, ゲートウェイ	
拡張機能	標準フォント	中国語 (簡体)	
	アウトラインフォント	ゴシック	英数かな
			日本語漢字
			中国 (簡体) 漢字

3.2 作画ソフトウェアの接続機器の設定

詳細設定

項目	設定値	備考
GOT NET No.	1	
GOT 局番	2	
GOT Ethernet 設定	下表を参照	
GOT 機器通信用ポート No.	5001	
リトライ回数 (回)	3	
立ち上がり時間 (秒)	3	
通信タイムアウト時間 (秒)	3	
送信ディレイ時間 (ms)	0	

GOT Ethernet 設定

項目	設定値	備考
GOT Ethernet 設定を本体に反映する	チェック有り	
GOT IP アドレス	192.168.3.18	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
周辺 S/W 通信用ポート No.	5015	
トランスペアレント用ポート No.	5014	

3.3 作画ソフトウェアのEthernet 設定

	自局	Net No.	局番	機器	IP アドレス	ポート No.	通信方式
1	*	1	1	QnUD (P) V/QnUDEH	192.168.3.39	5006	UDP

4. 画面仕様

4.1 表示言語

画面上に表示する文字列は、日本語・英語・中国語(簡体)の3言語で切り換え表示できます。各言語の文字列は、コメントグループ No. 500 の列 No. 1~3 に下記のように登録しています。言語切り換えデバイスに列 No. を格納すると列 No. に対応した言語を表示します。

列 No.	言語
1	日本語
2	英語
3	中国語(簡体)

4.2 画面一覧・遷移



ベース画面 B-30001 : ファイルコピー/削除

4.3 画面説明

4.3.1 ファイルコピー/削除(B-30001)



概要

GOT のスクリプト機能(ファイル操作関数)を使用し、SD カード内の CSV ファイルを一覧から選択して USB メモリにコピー、または削除します。

詳細

- SD カードの「¥Package1¥Sample」フォルダ内の CSV ファイルを一覧表示します。ファイル No. 10000 以上は下 4 桁のみの表示となります。
- ファイル一覧を更新します。ファイル選択状態は解除します。
- ファイル一覧を改ページします。ファイル選択状態は解除します。
- SD カード、USB メモリのアクセス可否、ファイル選択状態をランプ表示します。
SD カード : SD カードがアクセス可能なときに点灯します。
USB メモリ : 前面 USB メモリがアクセス可能なときに点灯します。
ファイル選択 : ファイル一覧でファイルを選択した状態のときに点灯します。
- SD カードの「¥Package1¥Sample」フォルダ内の CSV ファイルを操作します。ファイル選択時に操作可能です。
コピー : 選択したファイルを SD カードから前面 USB メモリにコピーします。
タッチ後 2 秒以内に再度タッチすることでコピーを実行します。
削除 : 選択したファイルを SD カードから削除します。
タッチ後 2 秒以内に再度タッチすることで削除を実行します。
- コピー完了/エラー、削除完了/エラーをメッセージで表示します。
- USB メモリを取り外せる状態にします。「USB メモリ取り外し可」と表示中は USB メモリを取り外せます。
- 現在表示中画面のため画面は切り換わりません。
- 未使用のベース画面切り換えスイッチです。
- 前回表示していた画面に切り換えます。
- 言語を切り換えます。

備考

- ファイル一覧表示、ファイルコピー、ファイル削除、初期値設定などの処理を画面スクリプトで実施しています。スクリプトの詳細は「4.6 スクリプト一覧」を参照してください。
- ファイル名は 33 文字まで対応しています。ファイル名の最大文字数、SD カード内フォルダ名の変更に 대해서는「6. その他」を参照してください。
- 11 のスイッチには、表示言語にあわせてシステム言語も切り換える設定をしています。

4.4 使用デバイス一覧

画面上のスイッチやランプなどに設定されている一部のデバイスは、スクリプトなどの共通設定にも設定されている場合があります。これらのデバイスを一括で変更する場合には[一括変更]の使用を推奨します。[一括変更]の詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。

4.4.1 接続機器のデバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	未使用	
ワード	未使用	

4.4.2 GOT の内部デバイス

タイプ	デバイス番号	用途
ビット	GB40	スクリプトトリガ(常時 ON)
	GB61000	ファイル一覧更新スクリプトトリガ
	GB61001	ファイルコピースクリプトトリガ
	GB61002	ファイル削除スクリプトトリガ
	GS251. b0	ドライブアクセス可能通知(A ドライブ)
	GS251. b2	ドライブアクセス可能通知(E ドライブ)
	GS1024. b0	USB ドライブ共通情報(E ドライブ取り外し可)
	GS1024. b8	USB ドライブ共通情報(E ドライブ使用可)
	GS1824. b0	USB ドライブ共通制御(E ドライブ取り外し)
ワード	GD60000	ベース画面切り換え
	GD60021	言語切り換え
	GD60022	システム言語切り換え
	GD61000	選択ファイル用オフセット
	GD61001	一覧スクロール用オフセット
	GD61002	file_getlist 関数戻り値
	GD61003	file_copy 関数戻り値
	GD61004	file_delete 関数戻り値
	GD61005	一覧選択行
	GD61010~GD61179	ファイル名表示用文字列表示
	TMP800	スクリプト演算用

4.5 コメント一覧

コメントグループ No.	コメント No.	使用箇所
500	No. 1~3、10~23	B-30001

4.6 スクリプト一覧

項目	設定
プロジェクトスクリプト	なし
画面スクリプト	B-30001
オブジェクトスクリプト	なし
スクリプトシンボル	有り
オブジェクトスクリプトシンボル	なし

4.6.1 プロジェクトスクリプト

設定なし

4. 6. 2 画面スクリプト

ベース画面 30001

スクリプト No.	30101	スクリプト名	Script30101
コメント	初期値設定		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB40
[w:GD61000] = 0; //選択ファイル用オフセット [w:GD61001] = 0; //一覧スクロール用オフセット [w:GD61002] = 0; //file_getlist 用戻り値 [w:GD61003] = 1; //file_copy 用戻り値 [w:GD61004] = 1; //file_delete 用戻り値 [w:GD61005] = 0; //一覧選択行 set([b:GB61000]); //一覧更新スクリプトトリガ			
スクリプト No.	30102	スクリプト名	Script30102
コメント	ファイル一覧更新(ファイル名取得)		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB61000
//ファイル一覧を更新します //GB61000 : スクリプトトリガ //GD61001 : 一覧スクロール用オフセット //GD61002 : file_getlist 関数戻り値 //GD61010 : ファイル一覧格納先頭デバイス #pragma file_name_length (file_length) [w:TMP800] = 0; fmov([w:TMP800], [w:GD61010], list_word); //ファイル一覧格納エリアをクリア [s16:GD61002] = file_getlist("A:¥¥Package1¥¥Sample¥¥", "*.CSV", [u16:GD61010], [u16:GD61001], 10, file_length); //SD カードの Package1-Sample フォルダ内の CSV ファイルを 10 ファイル分取得 [b:GB61000] = OFF; // スクリプトトリガをリセット			
スクリプト No.	30103	スクリプト名	Script30103
コメント	選択ファイルコピー		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB61001
//選択ファイルをコピーします //GB61001 : スクリプトトリガ //GD61000 : 選択ファイル用オフセット //GD61003 : file_copy 関数戻り値 //GD61005 : 一覧選択行 //GD61010 : ファイル一覧格納先頭デバイス #pragma file_name_length (file_length) [w:GD61003] = 1; //コピー正常終了を認識するため初期値として戻り値を 1 とする [w:GD61000] = ([w:GD61005]-1) * file_length_word; //選択ファイルオフセット値をセット [s16:GD61003] = file_copy("A:¥¥Package1¥¥Sample¥¥", [u16:GD61010][u16:GD61000], "E:¥¥", "", 1); //SD カードの Package1-Sample フォルダ内の指定ファイルを前面 USB メモリのルートディレクトリにコピー rst([b:GB61001]); //スクリプトトリガをリセット			

スクリプト No.	30104	スクリプト名	Script30104
コメント	選択ファイル削除		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GB61002
<pre>//選択ファイルを削除し、ファイル一覧を更新します //GB61000 : ファイル一覧更新スクリプトトリガ //GB61002 : スクリプトトリガ //GD61000 : 選択ファイル用オフセット //GD61004 : file_delete 関数戻り値 //GD61005 : 一覧選択行 //GD61010 : ファイル一覧格納先頭デバイス #pragma file_name_length (file_length) [w:GD61000] = ([w:GD61005]-1) * file_length_word; //選択ファイルオフセット値をセット [s16:GD61004] = file_delete("A:¥¥Package1¥¥Sample¥¥", [u16:GD61010][u16:GD61000]); //SD カードの Package1-Sample フォルダ内の選択したファイルを削除 [w:GD61005] = 0; //一覧選択行クリア set([b:GB61000]); //ファイル一覧更新スクリプトトリガをセット rst([b:GB61002]); //スクリプトトリガをリセット</pre>			
スクリプト No.	30105	スクリプト名	Script30105
コメント	USB 取り外し制御		
データ形式	符号付き BIN16	トリガ種別	立上り GS1024. b8
<pre>rst([b:GS1024. b0]); //USB ドライブ共通情報 (E ドライブ取り外し可) rst([b:GS1824. b0]); //USB ドライブ共通制御 (E ドライブ取り外し)</pre>			

4.6.3 オブジェクトスクリプト

設定なし

4.6.4 スクリプトシンボル

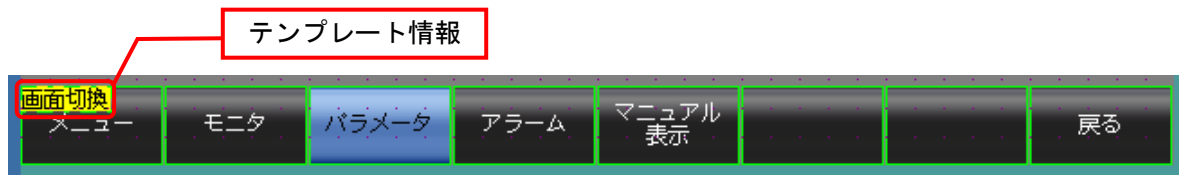
シンボル名	デバイスおよび定数	備考
file_length	33	ファイル名最大文字数
file_length_word	17	1 ファイル名最大ワード数 (ファイル名最大文字数÷2 の整数部+1)
list_word	170	一覧格納エリアワード数 (1 ファイル名最大ワード数×10(一覧行数))

4.6.5 オブジェクトスクリプトシンボル

設定なし

5. テンプレート

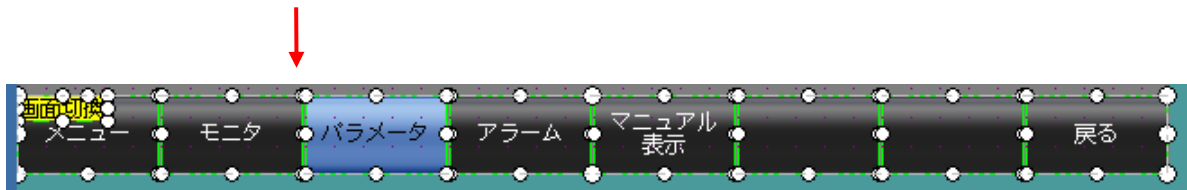
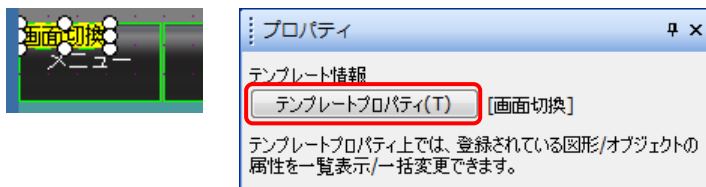
テンプレートとは、図形やオブジェクトの集合体です。関連のある設定をテンプレート属性としてまとめて登録しているためデバイスや色などを簡単に一括変更できます。属性の設定値を変更する詳細については、「GT Designer3 (GOT2000) ヘルプ」を参照してください。



テンプレート情報は作画ソフトウェアの編集画面上にのみ表示され、GOT の表示画面上には表示されません。

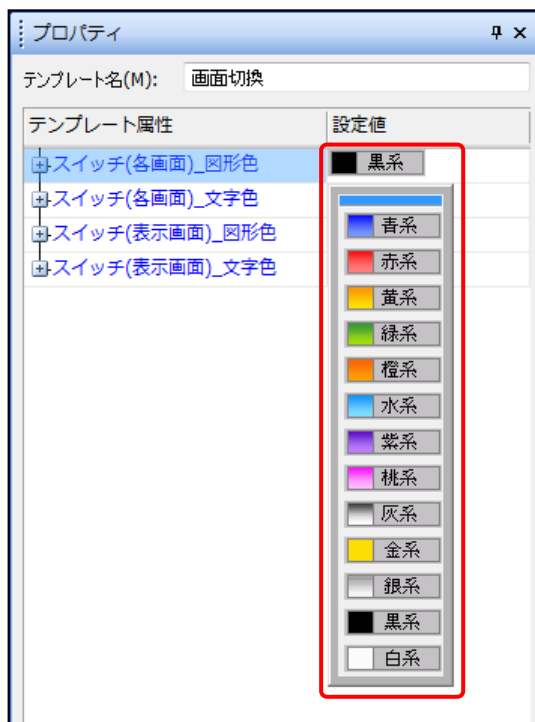
例：スイッチ(各画面)の図形色を変更する場合

- (1) [テンプレート情報]を選択し[テンプレートプロパティ]をクリック(または[テンプレート情報]をダブルクリック)



テンプレートに登録されている図形やオブジェクトが選択状態になります。

- (2) [スイッチ(各画面)_図形色]の[設定値]をダブルクリックして、変更したい色を選択

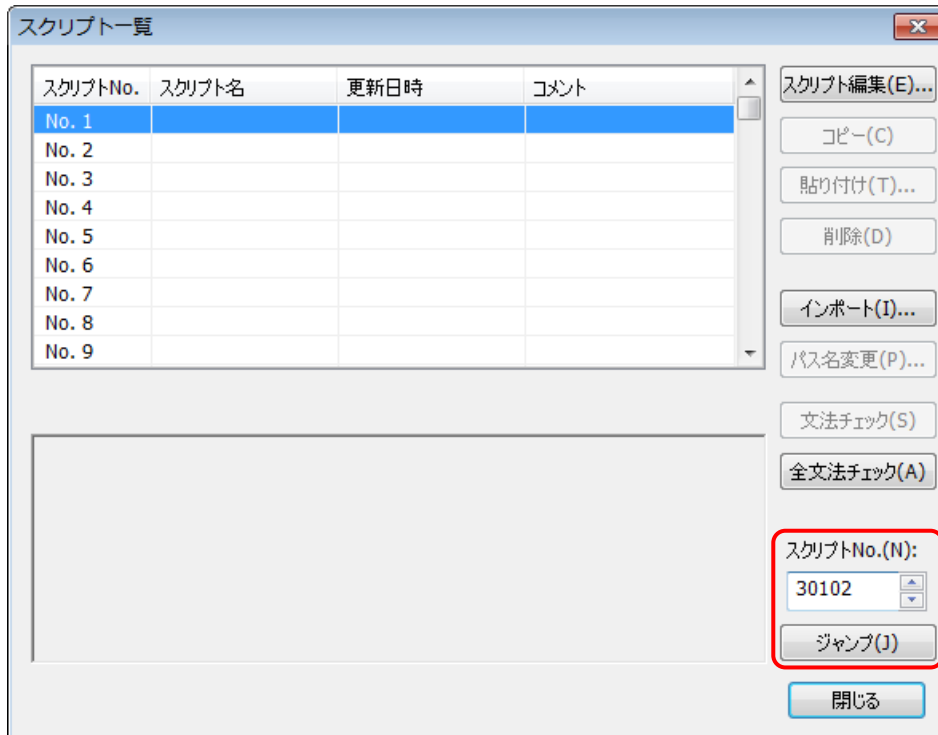


6. その他

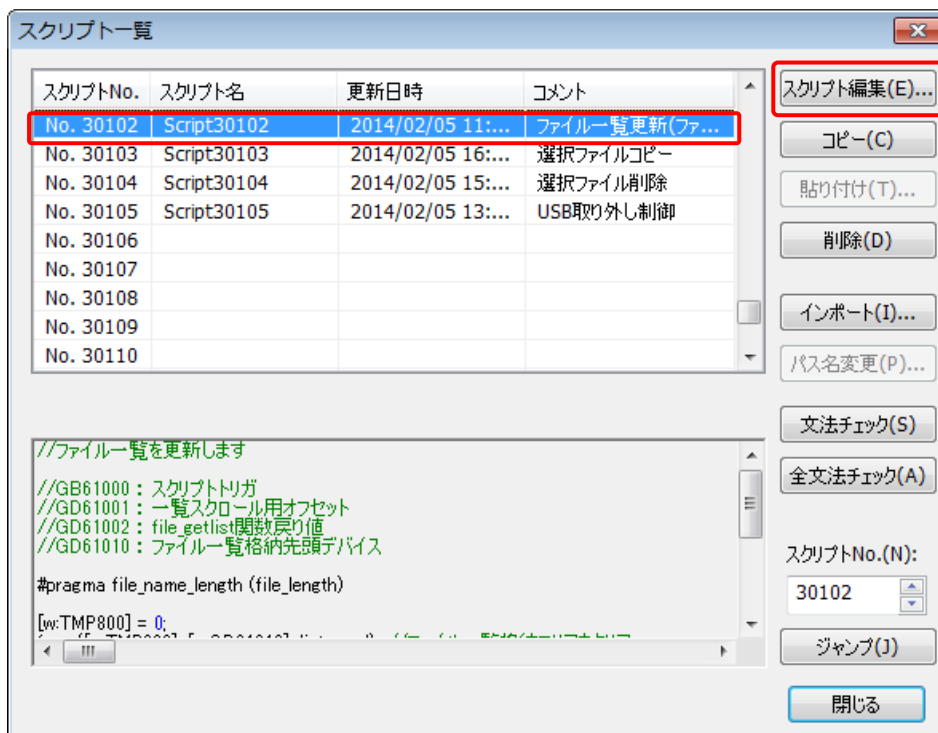
6.1 SD カード内のフォルダ名を変更

このサンプルでは、SD カードの「¥Package¥Sample」フォルダ内の CSV ファイルを操作します。フォルダ名を変更する場合は、以下の手順でスクリプト No. 30102、30103、30104 のフォルダ名の記述を変更してください。

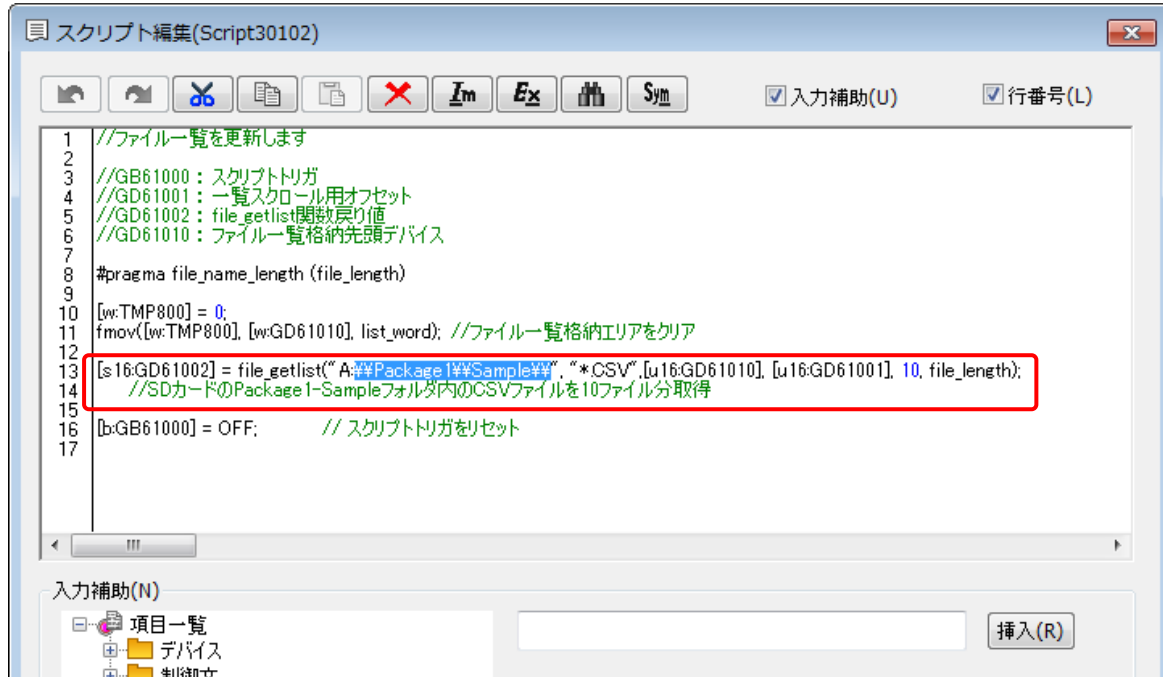
- (1) [共通の設定]-[スクリプト]-[スクリプト一覧]メニューを選択します。
- (2) スクリプト一覧ダイアログボックスのスクリプト No. に 30102 を入力し、[ジャンプ]をクリックします。



- (3) スクリプト No. 30102 を選択し[スクリプト編集]をクリックします。



- (4) スクリプトエディタで、「¥¥Package1¥¥Sample¥¥」を任意のフォルダ名に変更します。
注)パスで使用する区切り記号(¥)は、「¥¥」にしてください。



- (5) 同様にスクリプト No. 30103、30104 のフォルダ名の記述も変更します。

6.2 ファイル名の最大文字数を変更

このサンプルでは最大 33 文字の CSV ファイルを操作可能です。ファイル名の最大文字数を変更する場合は、下記を変更してください。

- (1) スクリプトシンボルの[デバイスおよび定数]を変更
- file_length : ファイル名の最大文字数を設定します。
 - file_length_word : ファイル名を表示する[文字列表示]に必要なワード数です。
「file_length」の値÷2の整数部+1の値を設定します。
 - list_word : ファイル一覧を格納するのに必要なワード数です。
「file_length_word」の値×10(ファイル名一覧の行数)の値を設定します。
- (2) B-30001 のファイル名一覧の[文字列表示]の[表示桁数]をファイル名最大文字数に変更
- (3) B-30001 のファイル名一覧の2行目以降の[文字列表示]のデバイスを変更
ファイル名一覧の[文字列表示]のデバイスが、スクリプトシンボル「file_length_word」で設定した値の間隔となるように、デバイスを変更します。
- (4) 画面の体裁を修正